

## 小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(平成29年度実績)

■平成29年度 教育・保育:「需要量の見込み」に対する「確保の内容」及び「実施時期」 (※事業計画書20ページ一部抜粋)

	計画策定時 (A)					
	1号	2号		3号	0歳	1・2歳
		幼稚園希望	左記以外			
①需要量の見込み	1,110 780	330	1,450 760	690	220	470
②確保方策	特定教育・保育施設	250	732	668	195	473
	確認を受けない幼稚園	1,305	-	-	-	-
	特定地域型保育事業	-	-	-	-	-
	認可外保育施設	-	70	30	5	25
	合計	1,555	802	1,500 698	200	498
過不足(②-①)	445	42	8	▲20	28	

幼稚園 ←                      → 保育所

	実績(H30.3現在) (B)					
	1号	2号		3号	0歳	1・2歳
		幼稚園希望	左記以外			
	1,159	783	1,524 741	225	516	
	504	751	706	199	507	
	1,040	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	
	-	0	27	21	6	
	1,544	751	1,484 733	220	513	
	385	▲32	▲8	▲5	▲3	

幼稚園 ←                      → 保育所

	実績(B)-計画(A)					
	1号	2号		3号	0歳	1・2歳
		幼稚園希望	左記以外			
	49	23	51	5	46	
	254	19	38	4	34	
	▲265	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	
	-	▲70	▲3	16	▲19	
	▲11	▲51	35	20	15	
	▲60	▲74	▲16	15	▲31	

幼稚園 ←                      → 保育所

### 平成29年度の取組と今後の事業計画、課題等

保育所部分の利用定員(確保方策)は、平成26年度に本計画を策定後、認定こども園への移行及び企業主導型保育施設の開設(認可外保育施設に含まれる)があったものの、認可外保育施設の廃止により保育所部分の全体では計画策定時と比べて16名の減少となった。

平成30年3月現在では、幼稚園部分の利用定員1,544名に対し1,159名の利用実績があり、保育所部分では1,484名の利用定員に対し1,524名の必要量となった(うち保育所等入所児童数は1,469名、入所待ち児童数は55名)。

この結果から、保育所部分において、定員弾力化(一定の条件の下での定員を超えての受入れ)により可能な限り受入れできるよう努めてはいるが、利用定員としては40名不足しており、また、特定の保育施設への入所希望や、保育士不足から各保育施設において十分な保育士数を確保できていない状況があり、希望する保育所等に入所することができない入所待ち児童もいることから、保育所部分の定員の確保及び保育士の確保が課題である。

今後も、従来型の幼稚園や認可保育所から子ども・子育て支援新制度幼稚園や認定こども園へ移行する施設が増えることが予想されることから、利用定員の設定については、事業者の意向を踏まえ、市全体の保育需要の状況を勘案しながら進める必要があると考える。